

編 集 後 記

五月のある日、ある園を観察させていただきました。その朝、私は子どもたちより先に園庭にいました。

保育室から飛び出して来た年長の女の子たちが砂場に陣取って遊び始めました。シャベルで穴を掘る、川をつくる、また穴を掘る、太い筒二本でトンネルをつくる、板の橋を三つも渡す、最初の穴にジヨウロで水を入れる、それは、家庭の砂遊びでは体験できないスケールの大きさです。周りにいた子どもたちも集まり始めました。

その楽しそうな様子にひかれて、私はどうしても、一歩また一歩と身を乗り出してしまいます。すると、

Y子たちの声が聞こえてきました。

「水はあっちから」「はだしになって」「昨日からやっている人はお姫様、初めて入った人は家来」「掘りたくても」家来は水を（入れる役を）「ずつとやる」などなど。思わず聞いてしまった会話に私はドキッとしました。でも、何人かが加わり、去っていきました。

結局、残ったのは始めからいた三人でした。中でも、最後までいたY子の姿と残された砂の作品が印象に残りました。それは、砂場というキャンパスに、こんな風に池や川、トンネルや橋を描きかけたといっているようでした。

一見、大勢でよく遊んでいるように見える砂場が、実は一人（三人）のイメージの実現の場だったということもある、と知りました。（A）

幼 児 の 教 育

第九十八巻 第九号

（一九九九年九月号）

定価五五〇円（本体五二四円）

発行 平成十一年九月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-1820 東京都港区三田五-1-1

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一四一九

☎〇三―五三九五―六六―三（営業）

☎〇三―五三九五―六六―四（編集）

振替 〇〇一九〇―二―一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。